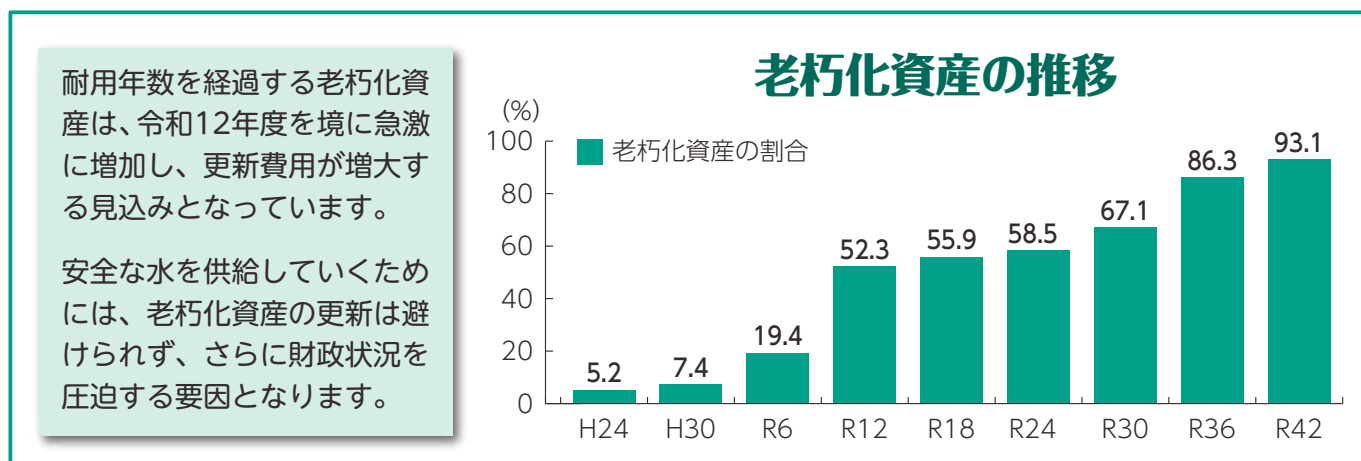
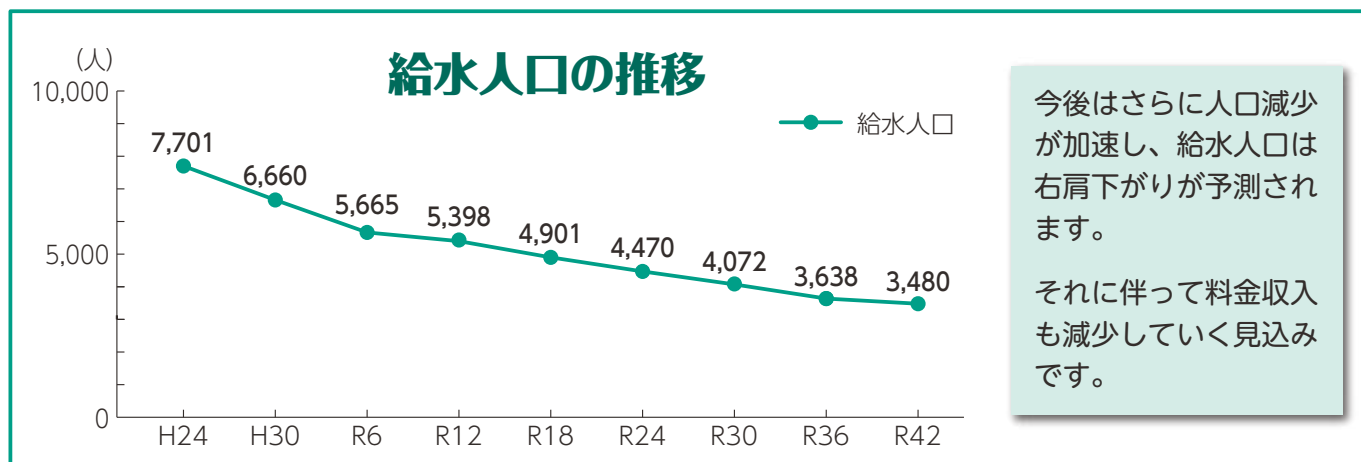




審議会での主な意見

委員からは、生活への影響を懸念する声とともに、将来を見据えた前向きな意見が出されています。今後も審議会で議論を重ね、料金のあり方を検討していきます。

現状を考えると、料金改定は避けられないのではないか

長期的な視点での料金改訂の検討が必要

高齢者世帯など、水の使用量が少ない世帯の負担には配慮を

今後のスケジュール(予定)

第2回審議会	9月	料金改定の具体的検討改訂の課題まとめ
第3回審議会	11月	最終確認 答申書について
答申	12月頃	町長へ答申
議会上程	令和9年3月	3月議会
周知	令和9年4～9月	町民の皆様へ周知説明
施行	令和9年10月1日	新しい料金での運用を開始

町民の皆様の声を伺います

料金改定は、皆様の生活に直結する重要な問題です。審議会では「町民がどのように考えているのかを把握することが重要」との意見が出されました。

今後、水道事業の現状や料金のあり方について、町民アンケートを実施する予定です。皆様の率直なご意見をお聞かせください。

詳細は決まり次第、改めてお知らせいたします。

■問合せ先
建設課上下水道係 ☎76-4610

水道料金のこれからを考える

ー八峰町上下水道事業経営審議会が始まりましたー

私たちの暮らしに欠かせない水道。
安全な水を、いつでも安心して使えること——
その当たり前をこれからも守っていくためには、
施設の更新や計画的な整備に必要な財源を確保していくことが欠かせません。
町では「水道料金のあり方」について話し合う
審議会を設置し、検討を始めました。



審議委員のご紹介

※敬称略、()内は所属



町民の代表として幅広い分野の方から、議論に参加いただきました。

会 長：高橋 今日子 (東京大学大学院 特別研究員)
副会長：腰山 良悦 (八峰町議会 議員)
委 員：山崎 典康 (八森第一自治会 会長)
阿部 富廣 (水沢郷中 総代)
金平 公明 (八森峰浜ふくし会 理事長)
伊勢 隼人 (レンチナス奥羽伊勢 代表取締役)
松森 貢 (峰浜培養 常務取締役)
工藤 久美子 (子育て世帯代表)

なぜ今、料金を考えるの？

利用者が減っています

人口減少に伴って、水道を使う人が減少。水道料金による収入も減っていく見込みです。



設備が老朽化しています

水道管や施設は年月と共に老朽化します。計画的な更新に費用が必要です。



このままでは経営が難しくなります

年間約3,000万円の資金不足が見込まれます

八峰町の水道事業は独立採算制で運営されていますが、収入が支出を大幅に下回る状況が続いています。令和8年度以降は毎年約3,000万円前後の資金不足が生じると見込まれ、このままでは令和15年度には資金が底をつく恐れがあります。

八峰町の水道料金は、秋田県内25市町村の中でも2番目に低い水準にあります。現在の料金水準のままでは、経営努力だけでは、安定した事業継続が難しくなります。